

(株)山形県食肉公社 (豚肉を香港、タイへ)



H18香港商談会(会場:ジェトロ香港)
でのディスプレイ状況

山形の豚肉「米澤豚一番育ち」、「天元豚」等を日本料理の高級食材として輸出開始。

現在は、香港の日本レストラン、高級スーパーが主な出荷先となっている。平成21年度からはタイへの輸出を新たに開始した。

【輸出量の推移】 平成16年 0.8トン 21年 18.5トン

【輸出のきっかけ、経緯、苦労したこと】

- ・ 平成16年に県主催の香港現地商談会に出展したところ、なだ万の料理長の目にとまり、取引を開始。
- ・ 輸出までの手続、証明書(家畜保健所、と畜場、食肉検査)が毎回の輸出ごとにあるので、その煩雑さが悩みの種。

【輸出によるプラスの効果等】

- ・ 海外で評価されたことにより生産意欲が高まり、事故率(豚の死亡率)が低下し、収益率がアップ。
- ・ 価格は国内と同一であり、価格的メリットは少ないが、国内における知名度が向上。



香港なだ万の山形県産豚肉(米澤豚一番育ち)のトンカツ料理

【ウェブサイト】 <http://www.ysyokuniku.jp/>